

市議会だより Obanazawa

128

令和8年2月1日発行

12月定例会
特集 意見交換会in宮沢地区

市民新春祝賀会・市民賞授賞式

地域の
千カラの
②

1300年の響き



シリーズ 地域の千カラ②

①「尾花沢雅楽保存会」はどのよう
うに活動してきたのですか。
歴史は江戸時代(1791年)に鈴木清風1族の鈴木清蔵さんが、宮中楽士安倍季康から、雅楽八十八曲、免許状を伝授されたことから始まります。戦争で演奏者が少なくなつたため、マンドリンクラブの菅野蔵さんが戦後復興に尽力されました。昭和49年に保存会を結成し、市の無形文化財第1号に認定。現在16名で年7回演奏しています。(念通寺報恩講11月23日・諏訪神社歳日祭1月1日など)

尾花沢雅楽保存会
会長 渡会 邦夫さん
インタビュー



1300年の響き ～戦後復興51年目の挑戦～



②雅楽の魅力は何ですか？
雅楽は仏教伝来とともにシルクロードから伝わってきた宮廷の音楽で、日本では平安時代に日本独自の雅楽が完成したとされ千三百年以上の歴史があります。「極楽浄土では美しい音楽が響きわたる。そこで神に捧げる音楽は雅楽」と言われます。楽器は、尾花沢では三管三鼓で演奏しています。三管は天と地を行き来する龍の声の龍笛、地に生きる人の声の篳篥、天からの光を表す笙、三鼓は、鉦鼓・楽太鼓。鞆鼓の計6種類です。魅力は、奥が深いということかな。無限に音が作れて、他のパートの楽器も経験して音を聞き合

わせる。関係性で音楽を作る。むずかしさが楽しさと喜びになる。楽人(演奏家)は雅楽を楽しんでおります。いろんな曲・現代音楽にもチャレンジしてみたいです。新春祝賀会では、平調「越天楽」を演奏しました。
③これからの抱負は？
まず音にこだわり、個人も全体もレベルアップを図り、発表の舞台を増やしたいです。皆さんに知っていただき、ぜひ雅楽を楽しんでいただきたい。西洋音楽と違う千三百年の雅楽の響きを感じていただきたい。小中学校にも訪問したい。何よりも日本遺産・尾花沢市指定無形文化財を大切に守り、磨き上げていきたいですね。



発行責任者	議長 菅野 修一
市議会だより編集委員	委員長 安井 一義
副委員長	鈴木 清
委員	伊藤 浩
委員	菅野 喜昭
委員	菅野 昌己
委員	畑中 和恵
委員	土屋 範晃



特集 第3回 意見交換会 in 宮沢地区



答 施設の活用方法については、議員からも市に対してアイデアを提案し、地域の方々と協議をしていくよう要望する。

問 鳥獣被害を食い止める中長期的な施策を国や県に対して提案していただきたい。

答 自治体における捕獲技術をもつガバメントハンターの育成や河川敷の刈払いや緩衝地帯の設置を国・県に要望していく。

あらまし

尾花沢市議会の広報広聴委員会は、尾花沢市議会基本条例の大きな柱の一つである市民と自由に意見を交換する場を設け、市民の参加推進を図るために、11月27日、宮沢地区公民館において意見交換会を開催いたしました。昨年に引き続き2回目。参加者は、宮沢地区区長会、民生児童委員や防犯協会、女性の会、議員を含む27人。昨年より多くの参加があり、宮沢の将来を明るく元気にする活発な意見が出されました。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました！

テーマ

1. 小学校統合に伴う地域維持について行政のさらなる支援を
2. 廃校後の施設活用について
3. 鳥獣被害を食い止める対策について

2. 参加者のアンケートより

- ・ 婚活支援強く進めてほしい。お見合いの機会の設置を。
- ・ 議員の熱意が伝わった。もっとこのような機会を増やしてほしい。
- ・ 議員も頑張る。市民も頑張る。よりそって考えて、一緒に行動してほしい。車の両輪のように。
- ・ 国の補助金もあり、集落支援員の配置について、進めてほしい。
- ・ 市の各種委員会に出席した場合の旅費日当などの費用弁償を実施してほしい。

1. 主な質疑

問 地域では、マンパワーが不足しており、人材が見つからず、同じ人が役員にならざるを得ない。現状に合わせた人的支援をお願いしたい。

答 集落支援員の設置要望と合わせて、地域おこし協力隊の募集に力を入れるよう要望していく。

問 ふるさとの川愛護活動支援事業（アダプト事業）を宮沢地区中沢川でも実施しているが、人材集めに苦慮している。活動負担金等の支援を増やしてほしい。

答 この事業を実施している他の地域団体でも同じ悩みを抱えている。このアダプト事業の活動を推進するために県に強く要望していく。

問 まもなく廃校となる宮沢小学校の利活用について、市のほうでたたき台を示してもらったうえで、協議していくことはできないか。

広報広聴委員のひとこと

皆さんの声をお聞かせください！

宮沢地区の皆さまと2回目の意見交換会を開催し、宮沢小学校の廃校後の利活用やクマ対策など活発な話し合いが行われました。廃校の活用については区長会や女性の会の視察報告があり、大変参考になりました。

また、12月定例会の一般質問では、出された課題を多くの議員が取り上げて、市当局に対応を求めました。私たちは、皆さんに必要とされる市議会を目指して、たくさんの地域や団体の皆さんと意見交換会を行いたいと考えています。気軽にご相談ください。

委員長 青野隆一

意見交換会ご希望の地域、団体に出向きます。
議会事務局（☎22-3755）にお問い合わせください。

補正予算、和解 新たな

案の受け入れ、 指定管理者が決定！



提出議案

議第47号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算（第7号）	可決 (全会一致)
議第48号	令和7年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
議第49号	令和7年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
議第50号	令和7年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	
議第51号	令和7年度尾花沢市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	
議第52号	令和7年度尾花沢市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	
議第53号	尾花沢市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議第54号	尾花沢市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	
議第55号	尾花沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	
議第56号	和解について	
議第57号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算（第8号）	
議第58号	令和7年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
議第59号	尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議第60号	尾花沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議第61号	尾花沢堆肥センターの指定管理者の指定について 【有限会社 スカイバイオテックス（R8.4.1～R13.3.31）】	
議第62号	尾花沢市運動公園体育施設の指定管理者の指定について 【NPO法人 尾花沢総合スポーツクラブ（R8.4.1～R13.3.31）】	
議第63号	尾花沢市徳良湖周辺施設等の指定管理者の指定について 【株式会社 ライズ（R8.4.1～R11.3.31）】	
議第64号	尾花沢市徳良湖温泉「花笠の湯」の指定管理者の指定について 【株式会社 尾花沢市ふるさと振興公社（R8.4.1～R11.3.31）】	

和解案の受け入れ 960万円

消防救急デジタル無線の契約に際し、談合を行っていた株式会社富士通ゼネラルに対して、市が損害賠償請求を行っていたことについて、東京地方裁判所から示された「解決金960万円」とする和解案を受けることとした。



定例会のあらまし
令和7年12月定例会が、11月28日から12月9日まで12日間の会期で開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算、事業会計補正予算、条例の制定、損害賠償請求事件の和解、指定管理者の指定について上程されました。

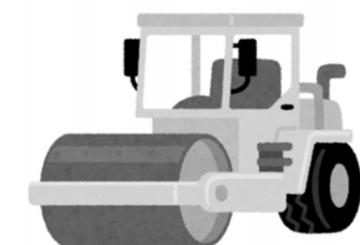
補正予算の一覧

区 分	補 正 額	累計年間予算
一般会計（第7号）	2億4,890万円	190億86万9千円
一般会計（第8号）	1,118万2千円	190億1,205万1千円
国民健康保険（事業勘定）（第2号）	3,473万2千円	19億1,119万8千円
国民健康保険（中央診療所施設勘定）（第2号）	943万2千円	4億1,797万9千円
国民健康保険（中央診療所施設勘定）（第3号）	646万2千円	4億2,444万1千円
介護保険（第2号）	268万4千円	19億9,240万3千円
後期高齢者医療保険（第2号）	4,062万6千円	3億775万6千円
簡易水道事業（第2号）	1,500万円	2億4,740万3千円
農業集落排水事業（第1号）	590万円	5,985万円

高温少雨対策事業費補助金 840万円

令和7年6月からの高温少雨による被害の軽減および拡大の防止、並びに農業者の生産活動の維持確保を図るため、補助金を交付。

主な 補正事業



社会資本整備総合交付金事業 4,000万円

国の追加補正に伴い、市道丹生玉野線と市道Ⅲ-138号線の舗装補修工事を実施する。

よりよい尾花沢市を目指して！

7人の議員は こう質^{ただ}した！

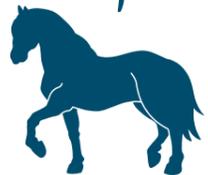
令和7年12月定例会 一般質問

※青文字タイトルが掲載

鈴木由美子	<ol style="list-style-type: none"> 玉野地区のコミュニティー維持とニッ森山「雲海」のアピールを 「雪降り和牛」の海外輸出 クマ被害対策 	菅野喜昭	<ol style="list-style-type: none"> 徳良湖周辺整備マスタープラン オートキャンプ場 徳良湖周辺整備マスタープラン 周辺のトイレ整備
青野隆一	<ol style="list-style-type: none"> 小中一校統合 自治会活動の活性化 今後の市立保育園の運営 	菅藤昌己	<ol style="list-style-type: none"> 本町の住所表示の変更 農地の売買及び貸し借り 防犯対策 家庭保育応援事業
土屋範晃	<ol style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊 	安井一義	<ol style="list-style-type: none"> 地域計画策定後の動向は 高齢者などへの対策
鈴木清	<ol style="list-style-type: none"> 総力戦のクマ対策 AIデマンド「のらっしゃい」の実証運行は 妊婦のために「緊急時タクシー利用券」を 		

質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

謹賀新年





議長 菅野修一
議員一同

丙午年、さらに行動する議会、市民と共創する尾花沢へ！

尾花沢市議会は市議会基本条例に基づいて、現在議会改革推進委員会を随時開催し、不断の改革改善に努めています。

(一) 定数・報酬部会、(二) 情報発信部会、(三) 基本条例検証作業部会を設置し、一層市民に開かれた議会とするために、行政視察で研修し、各部会にて回を重ね議論を尽くしています。

また、「通年議会」への取り組みを検討しています。

先般、議員定数について市議会だよりを通して、皆様より意向調査にご協力を頂きました。それらを反映し、市議会は見識を高めつつ、結果を出して参ります。

請願

令和7年 請願第3号

ペット用の火葬施設を設置すること。

採択

代表請願者	曹洞宗山形県第一宗務所第十六教区護持会 会長 尾崎 一成
紹介議員	星川 薫、青野 隆一
請願の内容	<p>現在のペットは家族であり、その家族同様の死は、「ペットロス」という長期にわたる心の不安定感を伴ってしまうとも言われている。近年「ペットを埋葬・供養したい」という方が増えてきたが、本市においてはペット用の火葬施設がなく、遠方の出張火葬ため費用負担も大きい状況である。</p> <p>他の自治体においては、小動物専用炉を設置し対応しているところも多くなってきた。</p> <p>本市においてもペット用の火葬施設を設置するよう請願するもの。</p>

産業厚生常任委員会 討議

「今のペットは家族同様。亡くなった際には懇ろに葬ってあげたいという願いは妥当である。」一方で「やり方として、広域で連携して行うような方法の検討も必要ではないか」「実際、設置するとなると、どのくらい費用がかかるのか調査が必要」などの意見が出された。

委員の意見の一致を見るに至らず、本定例会で結論を出すべきか、継続審議とするか採決するに至った。その結果、可否同数となったため、委員長により結論を出すことに決した。採決の結果、本委員会においては、賛成多数で「採択」することに決した。

本会議において反対討論(安井一義議員)が出され、その結果、(賛成10 反対2)で本請願は採択された。

賛否状況 (○…賛成、×…反対)

青野隆一	伊藤 浩	鈴木由美子	土屋範晃	鈴木 清	大類好彦	菅藤昌己	畑中和恵	高橋隆雄	安井一義	菅野喜昭	和田 哲	星川 薫	菅野修一
○	○	○	○	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	議長

**問 「雪降り和牛」輸出を
答 戦略を検討していく**

問 訪日客が増加の中、日本の台湾向け牛肉輸出量が2024年2千96t。2019年633tの3倍近くになっている。令和7年5月22日に台湾向け牛肉の月齢制限が撤廃されたことや円安のチャンスを活かし、輸出にチャレンジ



しては。

答 出荷先の山形県総合食肉センターは、台湾とタイへの輸出基準を満たした施設と認識。尾花沢牛振興協議会や尾花沢牛指定取扱店の卸業者等と連携。ブランド価値向上のため、GI制度（地理的表示保護制度）の登録、牛肉加工品やアル・ケツチャーノ奥田シエフ考案の料理もフル活用したい。

問 GI制度登録への進捗はどうか。
答 首都圏中心に販路拡大や消費拡大を目指す。今年12月に協議会を経て農林水産省へ申請書を提出予定。国の内部審査を踏まえ登録完了まで1年位かかる。
問 1年もかけていれば様々な情勢が変化すること。今すぐ出来ることは何か。
答 首都圏中心に販路拡大や消費拡大を目指す。



鈴木由美子 議員



動画はこちら



土屋 範晃 議員



動画はこちら



**問 協力隊で尾花沢市を元気に
答 明確な情報発信で呼び込む**

問 本市の協力隊員の募集情報は、文字の箇条書きのみである。他自治体では、任期中の活動内容が明確に記され、写真や住居情報、支援策なども確認できる。さらに、活動イメージの乖離を防ぐためのチェックリストやQ&Aを公表している自治体もある。これらは、予算をかけずに、手間と工夫ですぐに実施できると考えるが取り組んではいかがか？

答 今後は応募者の目線に立って内容を明確にし、写真などを加え

ながら強化していく。また、チェックリストやQ&Aの作成についても新たに検討する。
問 現在、本市の隊員は2名であり、10人以上の隊員が活動する自治体も多い中、県内で2番目に少ない。全国的な隊員の進路の傾向を見ると、起業のほか、地域で活躍する集落支援員への就労や就農者も多い。こうした動向を踏まえて、新たな募集を行ってはいかがか？

答 今後検討したい。



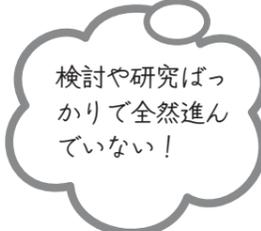
激化する隊員確保の自治体間競争



青野 隆一 議員



動画はこちら



**問 福中の利活用をどうする？
答 地域の意向を聞き検討する**

問 今年度で廃校となる福中に、地区公民館を移設し、集落支援員を複数配置してはどうか。
答 地区公民館の移設は考えていないが、閉校後の活用は時間も費用もかかるため、地域の意向を聞いて検討したい。集落支援員の配置については、尾花沢に合った導入を考えたい。

問 地域为中心的な役割を担うためには、地区公民館よりも集落支援員を配置して、廃校



昨年の卒業式

問 宮沢地区との意見交換会で、地域で学校の利活用を考えると、うが、行政としてのたたき台を示すよう要望されたがいかがか。
答 すべてのを行政で管理運営することは難しい。地域のにぎわいや高齢者の住む場所など一緒に考えていきたい。

**問 総力戦のクマ被害対策を
答 市民の安全が最重要課題**

問 全国的にもクマの目撃数・人的被害が過去最多となっており、災害級の対応と総力戦の対策が必要と思われるため以下質問したい。
①クマの目撃数、県内の推定数は。緊急銃猟緊急の体制はできているか。
②自治体職員「ガバメントハンター」

答 ①目撃件数は、昨年の8倍の2千604件。生息数は2千300頭と推定。市民の安全確保を最重要課題とし、マニュアルの作成など緊急銃猟体制整備を進めている。②国の政策シス



マタギのクマの解体

テムがまだできていないため、狩猟免許を所持する専門員が現実的と考えている。③尾花沢中学校で研修会を行った。各学校の要望に応えたい。④保護者の送迎で対応しているが、スクールタクシーは考えていない。⑤猟友会への処遇改善は、ご意見をお聞きしながら改善を図りたい。



鈴木 清 議員



動画はこちら



問 オートキャンプ場の拡張は？

答 可能性は十分にあると考える

問 グラウンドゴルフ場とキャンプ場フリーサイトとの間に空き地がある。パークゴルフ場を設置する考えを耳にしたことがあるが、今後どの様に利用する予定でいるのか。

答 オートキャンプ場を含めた徳良湖周辺の整備については、徳良



グラウンドゴルフ場東側の空き地

湖周辺整備マスタープランに基づいて実施しており、令和7年度はマスタープランにおける中期計画期間の最終年度であり、緑地広場整備についても今年度

終了したところである。議員が認識している空き地については、計画当初は民有地であり購入を進めるにあたっては、隣地にあるグラウンドゴルフ場とパークゴルフ場の拡張の候補地の一つとして記載されていた。その後、平成30年度に市で購入し現在に至っている。今般の質問にある市で購入した当該用地はオートキャンプ場と道を挟んだ隔地であるため、その道をどうするかを整理しながら、オートキャンプ場側への活用の可能性も十分にあると考えている。



菅野 喜昭 議員

動画はこちら



安井 一義 議員

動画はこちら



問 地域計画策定後の動向は

答 来年3月に公告予定

問 地域計画が策定され目標年度も令和16年となり計画実施となった。策定後の動向について5地区での特徴など考慮されたのか。いずれも担い手の育成・確保はどのように進めるのか。

答 「地域計画推進連絡会議」で具体的な工程に基づき地域ごとの事情に考慮した話し合いを開催し来年3月に更新された計画を公告予定。各地区の特徴については、抱える課題や解決策に共通点が多いと捉えている。見直



尾花沢の農業を振興していくための今後10年の地域計画に向け各地域の色分けされた地図



尾花沢市の地域計画ホームページ

しの話し合いを通じて各地区の特徴を捉え進めていく。親元就農の伴走支援など即効性のある後継者育成を図り、

さらに法人経営へと経営判断されることで農業経営の体力強化や農地の集約化などけん引された実例もあり積極的なサポートを進め、組織的な営農活動を支援する。

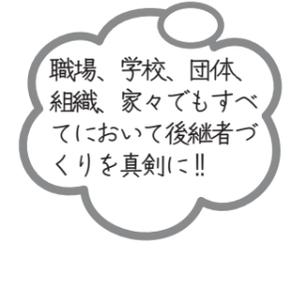
問 住居表示の変更を

答 利便性を考慮し適切に判断する



菅藤 昌己 議員

動画はこちら

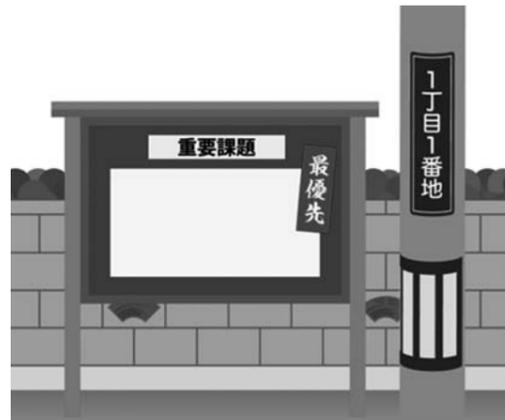


問 本町の住居表示の変更が平成9年に行われてから28年になる。都市計画地域に残された、中新田地域、下新田地域、荒楯地域など大字尾花沢名がついており、しかも4桁番地となっている。流通、配達などで分かりにくいと言われている。荒楯地域には、住宅団地も増えており、小学校建設も行われる。本町の大字尾花沢4桁地番の住居表示を変更実施してはいいかがか。

答 中新田地域、下新田地域、荒楯地域など

は、市街地状況や人口密度を踏まえ、住居表示変更にならなかつた。本町の4桁地番の住居表示変更は、郵便や宅配業者の負担が減るも

のと効果が期待される。一方で、住居表示変更に伴い、行政の事務に加え、住民の方にも手続きと負担が発生する。今後、まちづくりの計画の他、地域住民の利便性向上と負担バランスを適切に判断していく。



傍聴者の声



初めての傍聴で、市民の意見をいろんな方向から話していただけ、ありがたいと思いました。

普段、ふれる事のない問題を聞くことができて良かったです。福中に対して今後、有効活用されることをせつに願っております。

今まさに身近な問題に対して質問が行われており、ワクワクしました。全体的にわかりやすかったと思います。「来る市役所から出かける市役所へ」いいですね。

尾花沢のいろいろなことを知ることが出来て良かったです。尾花沢をより良い市にしてください。

議会を傍聴して、議員の皆様が尾花沢市のことを良く考えてくれていて、質問の受け答えも自分の目で見た現在の様子などを話していて、これからは尾花沢を守って欲しいと思いました。議会をインターネットの配信で観たり、議会だより、山形新聞などで知る機会はいろいろあると思いますが、これほどの程度、市民に伝わっているかなと思うところもあります。(自分もその一人ですが)

議員の意見が、なかなか市政に反映されない様子が理解できました。もう少し、議員と行政側が可能な限り、尾花沢市をよくする方向に検討しなければならぬと思いました。

傍聴された方の人数

日付	人数
12月1日	1人
12月2日	4人
12月4日	26人
12月5日	15人
合計	46人

“横”から“縦”へ 新たな学校教育の可能性

校舎が小・中一体型ではない状態で、全国が注目する小中一貫教育を展開している諏訪町を視察しました。少子化で同年齢の“横”のつながりが希薄化する中、小～中学生の異年齢による“縦”のつながりで子どもたちの絆を構築し、進学時のつまずきの軽減や、一人の児童・生徒をより多くの先生が関わり、成長を見守る体制などを学びました。

移住政策ゼロ!? 人口が増え続ける村

移住者確保政策のヒントを得るため、令和6年まで人口・移住者が増え続けている南箕輪村を視察しました。開口一番、「移住者向けの政策は何もしておりません」の一言から説明が始まり、衝撃を受けました。“今住んでいる人をいかに豊かにし、住みよい環境を整えるか”に振り切った政策を展開した結果、転出の防止と“住民を大切に作る村”という口コミが広がり、増加したのではないかと推察できました。

「のらっしゃい」の未来を先取り

今年度から実証運行を開始した本市のAI乗合デマンド交通「のらっしゃい」が今後直面する課題とその解決策を先取りするため、先進地である茅野市と長野市を視察しました。「目の前の需要に対応するのではなく、将来需要を見据えて先に供給を整える」という方針で、強力かつ柔軟に事業を進める姿勢が印象的でした。



制限時間いっぱい、質疑応答の嵐

視察の詳細は、年度末に市HPで公表予定の報告書をご参照ください。副委員長 土屋 範晃

広域組合議会の報告

北村山広域行政事務組合議会

令和7年度第3回組合議会臨時会

12月18日、令和7年度第3回臨時議会が開催され、本市の村松教育長が組合議会の教育委員に再任されました。議会終了後に教育賞、教育奨励賞の表彰式が行われ、令和6年度全国自作視聴覚コンクール優秀賞の宮沢小学校（令和6年度5年生）が奨励賞を受賞されました。



作品名「尾花沢にほこる5流派～花笠誕生と関わり～」

北村山公立病院組合議会

1 北村山公立病院組合議会は、第3回定例会を12月24日、東根市議場で開催し、令和7年度事業会計補正予算や病院一般職の給与条例改正など4議案を原案通り可決し、閉会しました。

2 概要

事業会計補正予算は、上半期（4～9月）の実績を踏まえ、年間見込みの外來患者数を2420人増の96800人に上方修正する。患者数増などにより、事業収益は1億6487万円増の58億7607万円、薬品費増などで、事業費用は1億6885万円増の62億6558万円に補正しました。

空席の副議長に、細矢清隆村山市議会議長を新任しました。

※ 定例会に先立ち行われた全員協議会において、建て替えが検討されている北村山公立病院に関し、同病院組合は、新病院建設に向けた基本計画の策定作業を中断する方針を明らかにしました。

尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合議会

12月18日、組合議場にて12月臨時議会を開催し、一般会計補正予算1案件を承認し、任期満了に伴う監査委員に小玉勇議員を選任しました。

また、副議長に村形昌一議員、議会運営委員会副委員長に川崎義治議員、水道常任委員会委員長に芳賀清議員、衛生常任委員会副委員長に川崎義治議員を各委員会にて選ばれました。

《主な補正内容》

○議会議事共有会議システム導入

○タブレット購入 31万9千円

○給与改正に伴うシステム改修 134万1千円

○令和8年度ごみ焼却施設維持管理補修工事費債務負担行為 33万円

1億9140万円

子育て、健康、農業の支援充実に向けて！

茨城県の3自治体を調査



茨城県の東海村、常総市、水戸市の行政調査の概要を紹介いたします。委員長 菅野 喜昭

出生前から若者期まで支える子育て施策

東海村では、出生前妊娠から18歳まで切れ目なく子育てを継続して支援しています。令和7年10月下旬に『こども・わかもの応援給付金』として、概ね6歳～18歳までを対象に一人当たり6万円を支給されており、子育ての充実度がうかがえます。

7つの取組を進める健康づくり施策を調査

水戸市では、健康づくり施策について調査を実施しました。令和2年4月1日に『元気な明日を目指す健康都市』を宣言し、7つの取り組みを示し、その達成のため『健康づくりガイドブック・みと』（健康宣言カレンダー付）を各世帯に配布して、健康の徹底を図っておりました。

行政×建設会社で農業の6次産業化に成功

常総市において、「アグリサイエンスバレー整備事業」を調査しました。民間建設会社が主体となり市と連携して、地域全体で農業の6次産業化をめざす取り組みです。首都圏へ60分ほどと立地条件も良好で、活気のある成功事例を学びました。

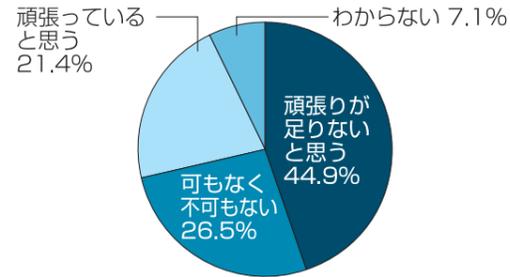
議会改革推進委員会 市民アンケート結果

市民の皆様の声を受け止め、これからの議会を考えます！

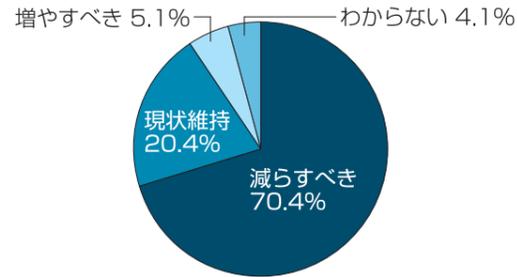
この度は「議員定数に関する市民アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。
市民の皆様からいただいたご回答・ご意見を真摯に受け止め、適正な議員定数を協議するうえで十分に参考とさせていただきます。

1. アンケート結果 全98件の回答をいただきました。主な質問の結果は以下の通りです。

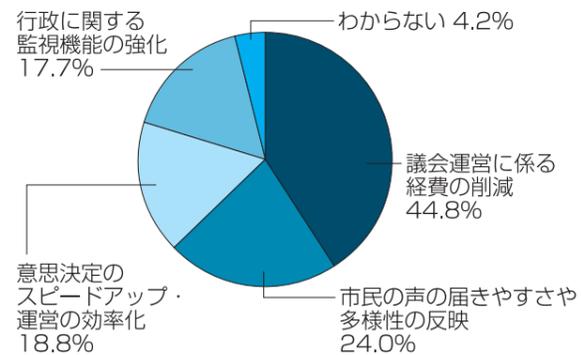
Q1. 市議会議員の活動について、どのような印象を持っていますか？



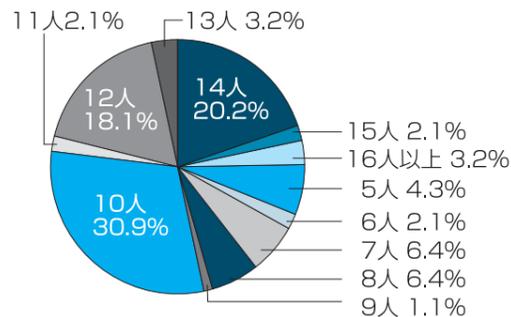
Q2. あなたは、市議会議員の定数について、どのように考えていますか？



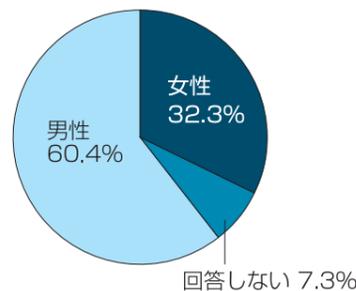
Q3. Q2の回答で最も重視した項目は何ですか？



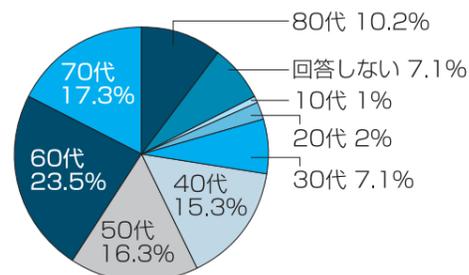
Q4. あなたが思う適正な議員定数は何名ですか？
(現在の定数が14人)



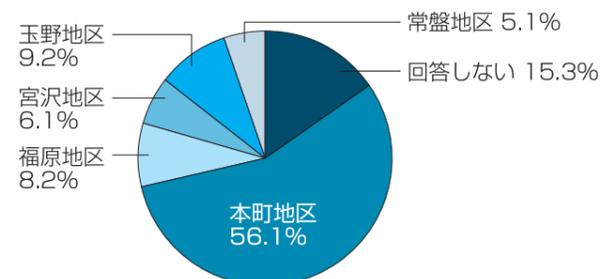
Q5. あなたの性別を教えてください。



Q6. あなたの年齢を教えてください。



Q7. お住まいの地区を教えてください。



市民の皆様の「声」 (Q4のその理由、及びQ8その他ご意見要望より抜粋)

- ・「人口減少」に伴い、議員定数を削減すべき。
- ・経費削減のため、議員定数や報酬を減らすべき。
- ・市民の声や多様な意見を反映させるには、一定数の人数が必要。
- ・行政に関する監視機能の強化を求める。
- ・他市との人口割合や定数を比較して、尾花沢市の定数は多い。
- ・議員の選挙について、無投票・無競争は望ましくない。
- ・議員の資質や活動内容に疑問があり、質の向上が必要。
- ・地区ごとのバランスを考慮した定数配分が必要。
- ・議員の活動が市民に見えない、伝わらない。
- ・議員は地域活動に参加し、市民の声を聞くべき。
- ・若者やより多くの世代の意見を反映させるべき。
- ・議員定数と報酬は一緒に議論すべき。
- ・市議会だよりなどによる情報公開や議会報告会の開催を求める。
- ・議員が行政と馴れ合いにならないように、ある程度的人数が必要。
- ・議員の質問の質を上げ、全員質問すべき。
- ・議員の報酬が高すぎる。日当制や最低賃金の2倍などに見直すべき。
- ・定数を減らすことで優秀な人材が立候補し、少数精鋭議会になるべき。
- ・市役所職員の人数や給与についても見直しが必要。
- ・議員の活動をボランティアの形にしたり、兼業でできるように制度を見直したりすべき。
- ・委員会が少なすぎる。議員がもっと自由に発言できるようにして欲しい。



詳細は↓から
見ることができます。



2. 市議会の対応

議員定数の見直し

市民の声

定数削減：人口減少、他市比較から見て多すぎる

市議会の対応

定数削減を求める多数の意見を受け、議会改革推進委員会にて議論を加速し、適正な定数について具体的な結論を出します。

市民の声を反映と公平性の確保

市民の声

地域配分の偏り：本町地区に偏りすぎ

市議会の対応

各地区へのバランス良い配置については、現選挙制度においては困難です。議会との意見交換会の開催を進め、市民との対話の機会を増やします。

少数意見：減らすと住民の意見が通らない

少数意見も大切にするという意見を受け止め、高齢者や若い世代などの多様な意見が市政に届く仕組みを検討します。

※アンケートでは、議員定数に関するご意見の他、議員の活動内容が見えづらい、質問の質を上げ全員が質問すべきなどといった、議会全体に対するたくさんのご意見をいただいております。これらは貴重な市民のご意見であり今後の課題であると捉えるとともに、できる限り課題解決が図られるよう、議会だよりや SNS などによる「見える化」や議員個々のスキル向上に努めていきます。